総合的な学習の時間　学習指導案

単元名：夢チャレンジ物語　～ 人々のくらしを支える ～

日　時　　平成３０年 ６月１２日（火）　第６校時

指導者　　望 月 誠 治

学　級　　第４学年１組　３６名（男子１７名，女子１９名）

１　単元について

【単元観】

本学園では，生き方を学ぶ学習として，校区にある職場を訪問し，働く人の話を聞いたり，働く様子を見たりしている。

本単元では,「福祉」に携わる方々とその仕事内容を取り上げる。校区にある高齢者福祉施設の協力を得て，社会科の学習とも関連させて，「くらしを支える仕事」について学習を進める。

高齢者福祉施設では，介助や支援で一人一人の状況に応じた配慮が求められる。相手の立場に立ち，相手の気持ちに寄り添うことが大切である。働く人の話を聞いたり，働く様子を見たりして，その人の夢や目標，努力について気付き，共感できるようにさせたい。

探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことを通して，これらのことに気付くであろう。さらに，学んだことを自己の生き方につなげて考えることができるようにしていきたいと考える。

【児童観】

本学級の児童は３年生で，身近なお店「ものをつくる仕事」を訪問し，働く人々の様子や思いを学んでいる。４年生では，社会科で消防署や警察署について学習し，私たちのくらしを守る人々の思いや願いも聞き取っている。

意識調査では，86％の児童は総合的な学習の時間が好きである。職場ウォッチングや３・８交流など，協働学習や人との関わりが楽しいという理由である。グループで考えたり話し合ったりする活動や調べたことを発表する活動が楽しいという児童も多い。また，根拠を明らかにしながら発言をしようとする児童も多い。

一方で,「どうして何度も同じようなことをしているのか分からない。」「総合的な学習の時間の勉強が，役に立つとあまり思わない。」という理由から,否定的な回答をした児童も数名いた。また,「福祉」について聞いたところ，72％の児童は分からないと回答した。

【指導観】

児童が目的や根拠を明らかにしながら課題を解決できるようにし，学習が自己の生き方を考えることにつながるように単元構成や活動の工夫を行う。

「福祉」について知らない児童が多いため，単元の導入では，外部人材を活用した介護に関わる体験学習を行うことで実感をともなった理解をさせたい。そこで得た感想をもとに，課題設定を進める。その際，比較・分類するために，思考ツール(KJ 法)を活用し，お互いの考えを可視化することで，協働して学習を行うことができるようにする。

情報収集の過程においては，比較検討ができるように，近隣の高齢者福祉施設にも協力を得て，資料を提示できるようにする。また，資料の調査だけに終わることなく，介護技術の体験や介護食の試食，職員の方への質問など，できるだけ多く体験活動を取り入れた学習を行うことで，介護に関わる知識と技術，働く人の夢や目標，努力について情報を得るようにしたい。

まとめ・表現の過程においては，学んだことを保護者に発信する場を設定する。これらの学習過程を通して，問いを見出して仮説を立てたり，情報を比較・分類しながら整理したりする思考力など，本学園で育成する資質・能力を育成したい。このように，福祉施設で働く人々の姿から，相手の立場に立ち，相手の気持ちに寄り添うことが大切であることを理解し，本単元の学習を通して，自己の生き方を考えることにもつなげていきたい。

２　単元の目標

○　福祉に関する体験活動や，福祉に携わる人の工夫や努力，願いを学ぶ学習を通して，人のために働くことの意義や大切さに気付き，自分たちにできることを考えるとともに，自分の夢や目標につなげて，自己の生き方を考えることができるようにする。

３　単元で育成を目指す資質・能力

○　知識・技能：高齢者にとって，よりよい介助や支援の仕方は，一人一人の状況に応じた配慮が求められることに気付くとともに，相手の立場に立ち，相手の気持ちに寄り添うことが大切であることを理解することができる。

○　思　考　力　：福祉施設で働く人の姿から問いを見出し，その解決に向けて仮説を立てたり，調べて得た情報を比較，分類しながら整理・分析したりすることができる。

○　表　現　力　：福祉の仕事について，調べて分かったことや自分の考えをまとめ，相手や目的に応じて分かりやすく工夫し，新聞や手紙で表現することができる。

○　主　体　性　：探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことを通して学んだことを，自分のよさや可能性とつなげて，自分の生き方を考えようとする。

４　単元の計画（全１２時間）

次	学　習　活　動（時数）	評価	
		【観点】評価規準	評価方法
1	**課題の設定（２）** ・介護技術や介護食の体験をする。（１） 介護の理解促進のための「介護プチ講座」 （広島県介護福祉士会） ・感想を出し合って，これから調べていく課題をつくる。（１） 「どんなことに気をつけて仕事をしているのだろう？」 「大変な仕事なのに，なぜ続けていけるのだろう？」 【社会】消防署の仕事と比較し，仕事の工夫や努力を想起させる。	【主体性】 ・体験活動から疑問に思ったことをまとめ，福祉の仕事内容や働く人の思いを主体的に調べようとしている。	行動観察 ワークシート
2	**情報の収集（４）** ・コース別（入浴，食事，リハビリ，送迎，年間行事など）に分かれて，本やパンフレットなどの資料から介護の仕事に関する情報を調べる。（２） ・介護施設で働く人へのインタビュー活動をする。（２） 「わがまち人材派遣」制度　呉中央コスモス園	【知識・技能】 ・福祉の仕事内容や，工夫について調べ，一人一人の状況に応じた配慮が求められることに気付いている。 【思考力】 ・課題解決に向けて仮説を立て，自分に必要な情報を選択しながら集めている。	行動観察 ワークシート
3	**整理・分析（２）** ・見学や体験活動などで収集した情報を整理し，福祉の仕事に携わる人の工夫や努力，願いについて考える。（２）	【知識・技能】 ・一人一人の状況に応じた配慮をするための様々な工夫があることを理解してい	行動観察 ワークシート

	（視点）夢，目標，努力していること 【本時２／２】	る。 ・相手の立場に立ち，相手の気持ちに寄り添うことが大切であることを理解している。 【思考力】 ・体験活動や見学を通して得た情報を，視点に沿って，根拠をもとに比較，分類しながら整理・分析している。	
4	まとめ・創造・表現（３） ・分かったことを新聞にまとめ，保護者に読んでもらう。（２） ・ゲストティーチャーの方々へお礼の手紙を書く。（１） 【国語】新聞形式で，調べた内容や自分の思いをまとめさせる。	【表現力】 ・福祉の仕事について，調べて分かったことや自分の考えをまとめ，相手や目的に応じて分かりやすく工夫し，新聞や手紙で表現している。	行動観察 成果物（新聞，手紙）
5	新たな課題の設定（１） ・探究活動を振り返ったり，自己の生き方を考えたりする。 ・人々のくらしを支える仕事やその仕事に携わる人について，学習する意欲をもつ。 【総合】１/2 成人式に向けて，様々な人の生き方から自分の生き方を考えることに意欲をもたせる。	【主体性】 ・探究的な学習のよさに気付いている。 ・学んだことを，自分のよさや可能性とつなげて，自分の生き方を考えようとしている。	行動観察 ワークシート

５　本時の目標

ランク付けする活動を通して，根拠を明らかにして福祉の仕事に携わる人の工夫や努力，願いについて自分の考えをまとめることができる。

６　思考過程の工夫

見学や体験活動などで集めた情報の中から，「すごい」と思う取組を付箋に書き出し，グループで話し合いながらランク付けすることで，根拠を明確にして福祉の仕事に携わる人の工夫や努力，願いについて自分の考えをもつことができるようにする。【比較する】【分類する】

7　本時の学習の流れ（８時間目／全１２時間）

<table>
<tr><th>学　習　活　動</th><th>指導上の留意点【考えるための技法】</th><th>【観点】評価規準
（評価方法）</th></tr>
<tr><td>1　課題意識をもつ。
○前時に付箋に書いた福祉の仕事内容を確認する。
○整理の仕方について見通しをもつ。

2　本時のめあてを確認する。</td><td>・福祉の仕事内容について想起させる中で，どのような視点や方法で整理するとよいか児童から引き出すようにする。
（視点）夢，目標，努力していること</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">めあて　福祉の仕事の「すごい！」と思ったことついて，理由を明らかにしてランキングしよう。</td></tr>
<tr><td>3　付箋を操作しながら情報を整理してランキングをする。
○各自でワークシートに分類する。

○グループで，それぞれの意見を比較・分類しながら話し合う。

○グループの考えをランキング表にまとめる。
<table><tr><th></th><th>（例）</th></tr><tr><td>1</td><td>笑顔になってもらうのが喜び</td></tr><tr><td>2</td><td>食事の工夫(自分で食べる喜び)</td></tr><tr><td>3</td><td>移動の工夫（自分で歩く喜び)</td></tr></table>4　全体で交流する。

5　本時のまとめを行う。</td><td>《思考過程の工夫：付箋，ランキング表の活用》【比較する】【分類する】
・ランキングは，ベスト３～５程度にする。
・なぜ，そうなったのか理由を引き出すようにする。
・根拠をもとに，取組内容を比較したり分類したりしながらキーワードでまとめるよう伝える。
・すごいと思う取組と，なぜそう考えるのか根拠を文章でまとめさせる。

・すごいと思う取組で，共通していることは何か話し合わせる。
共通点①：一人一人の状況に応じている
共通点②：相手のことを考えている

・グループや全体での話合いを通して，分かったことや自分が感じたことを，ワークシートに書かせる。</td><td>【思考力】体験活動や見学を通して得た情報を，視点に沿って，根拠をもとに比較，分類しながら整理・分析している。(ワークシート，行動観察)

【知識・技能】
・一人一人の状況に応じた配慮をするための様々な工夫があることを理解している。(ワークシート)
・相手の立場に立ち，相手の気持ちに寄り添うことが大切であることを理解している。(ワークシート)</td></tr>
<tr><td colspan="3">児童のまとめ例
○　利用者の一人一人に合ったお手伝いを工夫しているところがすごいと思った。
○　いつも相手のことを考えて仕事をされていることが分かった。</td></tr>
<tr><td>6　本時の振り返りと次時の予告をする。</td><td>・ランキングしたことをどう生かしていきたいか考えさせる。
・分かったことをまとめていくことに意欲をもたせる。</td><td></td></tr>
</table>

８　成果と課題

本単元の学習前は，探究的な活動の楽しさやよさを実感できず，「総合的な学習の時間」が主体的な学習となっていなかった。また，見学や体験学習が，情報を収集するだけに留まり，さらに働く人の努力や願いを考えたり，自分の生き方につなげて考えたりしている児童が少なかった。

そこで，「課題設定」では，児童が主体的に学習に取り組めるように，外部人材を活用した体験活動から児童の疑問点を整理し，学習課題を設定した。また，「情報の収集」では，介護技術や介護食等の体験活動や，見学やインタビュー等の活動を多く取り入れ，実感をともなって理解できるようにした。「整理・分析」では，「考えるための技法」に基づいて，思考ツールを活用したり，協働的な学習をしたりする中で比較したり分類したりすることで，考えを深めることができるようにした。さらに，「まとめ・表現」では，国語科と関連させてまとめ方を工夫させたり，目的や相手に応じて，書く内容を考えさせたりした。

その結果，全ての児童が，福祉の仕事に携わる人の工夫や努力，願いを実感する内容の記述をしたり，目的や相手に応じて表現の仕方を工夫したりすることができていた。このことから「思考力」や「表現力」を高めることができたと考える。さらに，単元末の振り返りには，探究的に学ぶよさを実感した感想や，「相手を大切にして仕事をしていることがすばらしいと思った。自分も将来，相手を笑顔にするような仕事につきたい。」などと，自分の生き方につなげて考える記述が多く見られたことから，「主体性」を高めることができたと捉えている。